

ピュアライド UVプロテクト4Fクリヤー

ピュアライドUVプロテクト4Fクリヤーなら高意匠サイディングボードのデザインをそのままに、強い外壁に生まれ変わります。

フッ素樹脂により、高耐候性を実現！
塗膜表面の親水性化によって発揮される低汚染性で汚れにくさもキープ！
塗り替えたその時から強く美しい外壁に生まれ変わります。

ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
------------------	-------

■ 特長

① 高耐候性

フッ素樹脂により高耐候性を発揮します。

② 紫外線吸収

「紫外線吸収剤」の働きでサイディングボードの色あせを最小限におさえます。

③ 低汚染性

表面の親水性により低汚染性を発揮します。

④ 防藻・防かび性

藻やかびの発生を長期間にわたり抑制します。

■ 用途

戸建住宅、マンションなどの高意匠サイディングボードの塗り替え

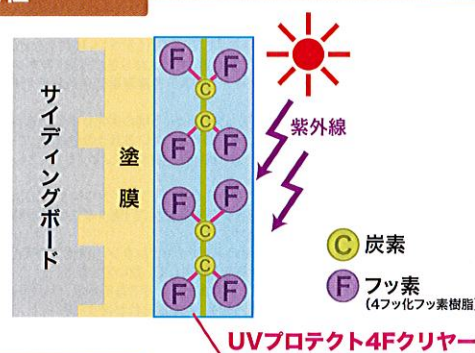
■ 標準塗装仕様(塗り替えの場合)

各種外壁、高意匠サイディングボードなどのクリヤー仕上げ

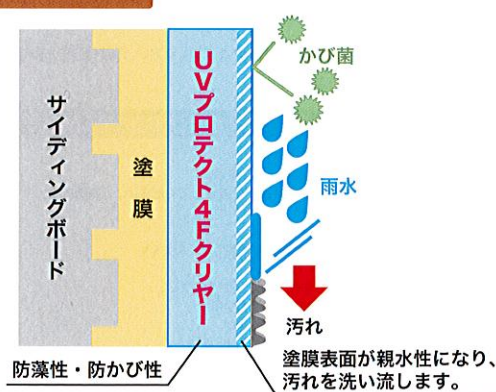
塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	高意匠サイディングボード面を補修したのち水洗いし、十分に乾燥させてください。エポキシ注入材による汚れは変色する恐れがありますので溶剤などで完全に除去してください。エフロレックスはスクレーパー、ワイヤーブラシなどで削り落とし除去してください。酸性洗剤などを用い溶解する場合は、その後十分に水洗いし、乾燥してください。その後pH試験紙などを用いて、塗装面が中性であることを確認してから塗装してください。(pH6~8)						
下塗り	UVプロテクト4Fクリヤー (つや有り)	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用 シンナーA	20~40 5~10 0~10	エアスプレー エアレス はけ・ウールローラー
上塗り	UVプロテクト4Fクリヤー (つや有り・3分つや有り)	1	0.12~0.14	—	塗料用 シンナーA	20~40 5~10 0~10	エアスプレー エアレス はけ・ウールローラー

(注)・上記の各数値は、すべて標準のものです。非塗装物の形状、素地の状態気象条件、施工条件によりそれぞれの幅を生じさせることがあります。
・施工上の要点および注意事項をよくご確認ください。

高耐候性



低汚染性 防藻・防かび性



商品体系

商品名	系統	容量	色相	つや	ポットライフ(23°C)
UVプロテクト4Fクリヤー	高意匠サイディングボード用 フッ素系外壁保護クリヤー	15kgセット(塗料液:12kg 硬化剤:3kg)	透明	つや有り 3分つや有り	4時間
		3kgセット(塗料液:2.4kg 硬化剤:0.6kg)			

■施工上の注意 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- ・被塗面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて急に行ってください。薬剤が壁面に残ったまま本品を塗装すると塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- ・光触媒のサイディングボードには適応しておりません。光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- ・シーリング面は、マスキングテープなどで養生してから上塗り塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- ・エフロレッセンスなど汚れの除去で素地の洗浄を行う場合、薬剤(酸、洗剤など)が残らないよう、後水洗は十分に行い、乾燥した清浄な面にしてください。
- ・さび汁などがある場合は、サンドペーパーで除去してください。
- ・吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
- ・経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。
- ・つや調整品を使用の際、吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みむらによる目地部の白化(つや消し剤のたまり)を生じることがありますので、1回目の塗装時に塗膜が残らないような場合はつや有りを増し塗り、もしくは2コートして吸い込みを止めから上塗りを塗装してください。下塗りには必ずつや有りを使用してください。つや調整品を下塗りに用いると前塗の目地部白化が生じやすくなります。
- ・目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- ・目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- ・すでに旧塗膜がある場合は、縮み、はく離を生じることがありますので、ケレンしてから塗装してください。
- ・塗装後は濡れ肌になるため、既存色より濃くなりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にはつらさがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上がりをご確認ください。
- ・仕上がりがむらになりやすい場合、ニッパカラマックスFAや各種現場調色用着色剤を使用して調色することは避けてください。
- ・クリヤー仕上げは下地の状態をそのまま表出してしまうため、下地の劣化が著しい場合はおすすめできません。ヘヤクラックなどの発生がなく、かつ築後10年以内であることをいちょうの目安にしてください。
- ・下塗り材にエポキシ樹脂塗料(ニッパ透過性シーラー(新)など)は使用しないでください。変色、はく離の可能性があります。
- ・ローナーエッジやジョイント部で塗膜がはがれている場合は、ファインウレタンU100やファインシリコンコンプレックスで補修後にクリヤーを塗装してください。補修用として1液タイプをご利用の場合は、塗装後必ず1日以上乾燥させてください。縮む可能性があります。
- ・釘頭が出ている場合は1液ハイボンドファインデックロ+ファインウレタンU100などを施した後クリヤーをかけたください。さび止め塗装した上にクリヤーをかけることは決してしないでください。
- ・水洗後晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。乾燥が不十分である場合、クリヤー仕上げのためボードに残った水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなるおそれがあります。
- ・つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- ・つや調整品では、塗り継ぎや補修つやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- ・過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- ・つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- ・被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- ・塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。

- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
- ・素地の乾燥は十分に行ってください。
- ・塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装を避けてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・薄めすぎは隠へい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・調色には必ず当社専用の原色をお使ください。
- ・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。
- また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ・塗料は内容物が均一になるようによくかはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、よくかはん機を用いて底の沈降物を十分にかはんしてご使用ください。
- ・開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

UVプロテクト4Fクリヤー つや有り塗料液	
<ul style="list-style-type: none"> ・本来の用途以外に使用しないでください。 ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。 ・熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。 ・容器を密閉してください。 ・容器および受器を接地してください。 ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。 ・火花を発生しない工具を使用してください。 ・粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。 ・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。 ・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。 ・取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。 ・適切な手袋/防毒マスクまたは防護マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。 ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。 ・吸い込んだ場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 ・飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。 ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。 ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。 ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。 ・取り扱った後、手を洗ってください。 ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。 ・粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。 ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。 ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。 ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。 ・水を消火に使用しない。適切な消火剤として、粉末、乾燥砂がある。 ・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。 ・密栓して子供の手の届かないところに保管してください。 ・直射日光や水濡れは厳禁です。 ・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。 ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50°C以上(スプレー缶の場合は40°C以上)の温度に暴露しないでください。 ・内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 <p>*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 ■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。 ■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>
<p>危険</p>	<p>危険有害性情報</p> <p>引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ 呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ 水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期的影響により水生生物に非常に強い毒性</p>

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

- ・当社は2014年6月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
- ・このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名「ビュアライド」/会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2014 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

カタログNo.

NP-S029

AA140609T
2014年6月作成